

16 兆円規模のイベント業界を、IT を駆使してデジタルに改革  
イベントプラットフォームアプリ『eventos (イベントス)』  
フルリニューアルを発表

～東京ゲームショウ 2018 等の大規模イベントにも採用～



アプリ開発を行う株式会社ブレイブソフト（本社：東京都港区、代表取締役：菅澤英司）は、イベントの IT 化を促進するイベントプラットフォームアプリサービス『eventos (イベントス)』をフルリニューアルし、2018 年 9 月 12 日（水）より提供を開始します。

### ■開発背景

現在イベントの消費規模は 2017 年に 16 兆 6,490 億円にもものぼり、6 年連続の規模増加（※日本イベント産業振興協会）となるなど、市場が注目されています。しかし、イベントを開催する企業は運営や宣伝、集客などに課題を抱えており、また来場者にとってはイベント当日の混雑状況やブース位置がわかりにくいなど、未だアナログな運営がされていました。『eventos』はそのような課題を解決するため 2014 年 9 月 4 日に第一弾がローンチされました。

### ■eventos とは

『eventos』はイベントのデジタル化を促進し、プラットフォームとなるアプリ制作サービスです。イベントアプリに特化したパッケージサービスのため、最短 5 日というスピード開発ながら、イベントに必要な機能が自由にカスタム可能となっています。また、アプリ導入にかかるコストを通常の 5 分に 1 程度に押さえることができ、東京ゲームショウ 2017 や東京モーターショー 2017（株式会社ジェナと共同開発）でも使用された実績を持ちます。

#### 【主な機能】

- ・屋内位置情報マップの作成
- ・アンケート機能
- ・イベントスケジュール管理機能
- ・来場者属性分析機能
- ・ビーコン PUSH 通知機能の搭載
- ・PUSH 通知機能の搭載など

※機能詳細は <https://eventos.tokyo/> をご覧ください。



## ■新機能について

- ①従来インターネット通信時に必要なデータ以外にも取得していたことが課題であり、その課題を解決するため、起動時に最低限のデータを一括取得し、起動中に必要な通信をほとんどなくすことで、**電波状況に左右されない操作性の高さ**を実現。
- ②ネイティブ技術で画面操作の軽快さが大幅に上がり、UI/UXのリニューアルで利用者がより直感的に**目的となるコンテンツにたどり着くことが可能**。
- ③管理画面も大幅にアップデート、使用したい機能を選択し**順番にデータ登録するのみで簡単に管理可能**。  
コードの生成等も管理画面から行うことができ、**どのような利用者也開発者と同等の品質のアプリを制作可能**。



## ■『eventos (イベントス)』機能概要

商品名称：eventos (イベントス)

URL：<https://eventos.tokyo/>

TEL：03-6809-6064

担当：後藤

企画・開発：株式会社ブレイブソフト

## ■株式会社ブレイブソフトについて

ブレイブソフトは技術者主体・若者主体にこだわり、世界に通用するソフトウェアベンチャーとして、ものづくりを追求し、新しい時代を創る「最強のものづくり集団」を目指し、スマートフォンアプリやwebシステム等の企画・開発を行っています。『首相官邸公式アプリ』、『ポケテ』、『TVer』をはじめ、テレビ局や著名人とのタイアップアプリなど500件以上の開発に携わるなど、多数のヒットアプリを開発・主導。最強のものづくりベンチャーを目指して成長を続けています。

## ■会社概要

会社名：株式会社ブレイブソフト

代表者：代表取締役 菅澤英司

所在地：東京都港区芝 4-13-2 田町フロントビル 6F

設立：2005年4月4日

資本金：1億1000万円

事業内容：イベントとITを融合させるプラットフォーム eventos の提供。  
BtoC コンテンツアプリの企画・運営  
リアル×アプリを中心としたスマホアプリ受託開発。

URL：<https://www.bravesoft.co.jp/>